

魂のヴォーカリスト
日本縦断講演ライブ!

杉山 裕太郎 (大垣市出身)

私は岐阜県大垣市出身で5年前に上京し、現在は東京都板橋区を拠点に、青少年健全育成の為の歌を交えた講演ライブを全国の市町村や学校などで行っていきます。

少年時代優等生だった私は、中学校を境に親や教師など、大人や社会への反発や寂しさから非行に走り始め、暴走族のリーダーや暴力団との関わり、薬物乱用など、人生のどん底を経験しましたが、23歳のある夜に親にもらった言葉がきっかけで更生することが出来ました。

その頃、岐阜や名古屋の拠点を転々としながら悪行を重ねていた私は、実は自分の力では止められないほど薬物に溺れていました。金融機関だった父親の職業柄、過剰



に世間体を気にする両親に対して、反発心や寂しさ、愛情不足を感じていた私は、この日も徐々に実家に帰るといつものように口論はエスカレートし、生活改善を要求する両親に対し、「うるせえ! クソ爺! クソ婆! お前らのせいで俺はこうなったんや!」と薬物使用を目の前で見せて反発しました。今思えば本当は親に対するSOSだったのですが、その時は親を困らせた一心で反抗しました。しかしその時父が、「お前は俺達の大事な息子や! お父さん達が悪かった。お前がそんなに苦しんでいる事を知らなかった。」と泣きながら抱き締めてくれました。その時私は「自分は愛されているんだ」という思いに目覚め、「この人たちはクソ爺クソ婆じゃない、俺の大事なお父さんとお母さんなんだ!」という当たり前のことを、言葉に出して言うつもりだったことによって気付く事が出来ました。

その事がきっかけで人生をやり直そうと更生へ向かい、25歳で大学に入学し首席で卒業、教員免許や宅建免許などを取得し、世の中に自分の歌で勇気を与えて行こうと30歳で歌手活動の為に上京しました。現在は歌手、役者、ラジオパーソナリティなど、色々な場面でお仕事をさせて頂きながら、言葉の大切さや親子の

絆の大切さを訴える為に、歌を交えた講演ライブを全国の様々な団体から依頼を頂いて開催しております。岐阜県では本年度30本以上の講演の機会を頂いており、地元の支援が無くては成り立たない程の恩恵を受けておりますが、自殺や猟奇殺人などで奪われる尊い生命を少しでも救う為、又、ネット社会や薬物問題に警鐘を鳴らしていく為に、自分の貴重な経験を生かして今後も青少年健全育成活動に精進して参りたいと思っております。



又、この度、岐阜郡上八幡が舞台で、来年夏劇場公開予定(岐阜県は来年2月先行上映予定)の映画『さよなら夏休み』(出演:緒形直人、要潤、中山忍、古谷一行、他)に郡上小学校教師、鬼塚洋平役で私も少しだけ出演しており、ロケは8月下旬から9月上旬にかけて行われました。

これも青少年健全育成をテーマにした岐阜県内オールロケの映画ですので、皆様にも是非注目して頂きたいと思っております。

その他、スケジュールや楽曲のダウンロードなど活動の詳細は、

オフィシャルHP
<http://yutarosugiyama.com>
(杉山裕太郎で検索もOK)

でチェック出来ますので、今後とも同郷出身として皆様にも、私の活動を応援して頂けると幸いです。